

自己評価報告書

評価対象期間 2024 年度
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

学校法人タイケン学園
日本ウェルネス歯科衛生専門学校

2025 年 5 月 22 日作成

目次

基準 1	教育理念（理念、目的、育成人材像）	1
基準 2	学校運営（運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム）	2
基準 3	教育活動（目標の設定・教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価）	3
基準 4	学修成果（就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価）	4
基準 5	学生支援（就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人）	5
基準 6	教育環境（施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理）	6
基準 7	学生の募集と受け入れ（学生募集活動、入学選考、学納金）	7
基準 8	財務（財務基盤、予算、収支計画書、監査、財務情報の公開）	8
基準 9	法令等の遵守（関係法令・設置基準等の遵守、個人情報の保護、学校評価、教育情報の公開）	9
基準 10	社会貢献・地域貢献（社会貢献・地域貢献・ボランティア活動）	10
基準 11	国際交流	11

評価委員

	所属	氏名
委員長	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 校長	落合 邦康
委員	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 事務長	大川 浩子
委員	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務	橋本 治美
委員	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務	猪島 恵美子
委員	日本ウェルネス歯科衛生専門学校 教務	清水 秀子

大項目	評価項目	自己評価 優れている 3 適切 2 改善が必要 1	自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	学校法人タイケン学園グループでは、3つの建学の精神（1. 物事を科学する人材の育成、2. 質実剛健な人材の養成、3. グローバルな人材の養成）を掲げ、グローバルな感性、現代社会で勝ち抜くバランス力、政策力を持つ人材の育成を目指している。このミッションのもと、日本ウェルネス歯科衛生専門学校では、歯科衛生士に関する知識並びに技術を修得するための専門教育を行い、歯科医療施設及び関連業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。	歯科衛生士に関する専門教育を行うだけでなく、自主的・主体的に学ぶ姿勢を持ち、周囲の人々から信頼され、人としての「やさしさ」や「思いやり」の心を持った歯科衛生士の育成、という観点も大切にしている。
	1-2 特色ある職業教育活動に取り組んでいるか	3		
	1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3		
	1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒、保護者等に周知されているか	3	毎週、タイケン学園主催でグループ校全体の Web 会議が行われ、各校代表者が参加する。指示を受けたことは毎週、校長および教職員のミーティングで共有して、自校に合わせて落とし込んでいく。	
	1-5 教育目標・育成人材像は専門分野に関連する業界のニーズに適合しているか	3		
2 学校運営	2-1 目的に沿った運営方針が策定されているか	3	タイケン学園本部の方針に沿って学校運営の事業計画、人事・給与制度、財務管理、コンプライアンス体制が確立されている。	
	2-2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3		
	2-3 運営組織や意思決定権は、規則等において明確化され、且つ有効に機能しているか	3		
	2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか	3		
	2-5 教務・財務等の意思決定システムが整備されているか	3		
	2-6 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3		

	2-7 情報システム化による業務の効率化が図られているか	3	学園全体でシステム化が進められている。	教務室にいながら全ての教室の状況をモニターで確認することができるようになっている。
3 教育活動	3-1 理念に沿った教育課程の構成、実施方針が策定されているか	3	教育課程の構成や実施方針は、歯科医療現場の人材ニーズにあわせて適切に策定され、必要に応じて改善を行っている。	最終目標である歯科衛生士国家試験合格に向けて、1・2年次には各科目を確実に理解できるようじっくりと取り組む体制にして、3年次には総括を行っている。 また、学校関係者評価や教育課程編成委員会、臨床実習施設等を通じて、歯科医療現場の最新のニーズを把握し、カリキュラムの確認と見直しを常に行ってている。
	3-2 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は明確にされているか	3	学則に教育課程、単位および授業時間を明記、シラバスで詳細を明記。年度始めに非常勤講師に配布、学生にはWeb上で配布し説明をしている。	
	3-3 学科等のカリキュラムは体系的に構成されているか	3	各年次での到達目標を定め、それに応じたカリキュラムを適切に設定している。 2025年度からカリキュラム変更している。学習効率を考えると、さらに改善するべきところがでてきたため、2025年度カリキュラム変更をする予定である。	
	3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	学園から社会性を身につけるように徹底されている。本校の教育理念に沿って教育活動を行っていく中で、社会性が身につくように、日ごろから教育している。また、職業的にも大学病院、歯科診療所での臨床実習を通して、現場の最新の技術、知識を身に付ける。その他にも病院、施設見学、関連企業見学などを通じて現場の最新の情報を知る機会を作っている。	超高齢社会に対応するため、訪問診療に特化した講義、施設見学を取り入れた。その中で希望者は訪問診療の現場に同行させてもらう機会を作っている。
	3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	年度末に各講師の授業内容について、当校で設定した評価基準により学生に評価をしてもらっている。	評価結果は各講師にフィードバックしている。
	3-6 成績評価、単位認定等の基準は明確になっているか	3	成績評価と単位認定等の基準は学校生活ハンドブックに明記し、教職員、非常勤講師、学生・保護者に周知徹底している。	各学年の成績通知書を保護者に送付する時、成績の基準等詳細を記載した文書も送付している。
	3-7 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	最終目標である歯科衛生士国家試験合格を目指すための指導体制、カリキュラム作りを行っている。また、年度始めのオリエンテーションで学生に周知している。 3年次には国家試験合格に向けて総合演習の中で、科目毎にレベルアップを図れるようにしている。	1年次、2年次、3年次と段階的にレベルアップが図れるようにカリキュラムを作成していたが、2025年度からは更に確実にレベルアップできるように変更している。
	3-8 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	専任、非常勤共に各学科目のスペシャリストであり、本校の教育目標を達成するべく要件を満たしている教員を採用している。	大学歯学部より専門の講師陣を招き、より実践的な教育プログラムの提供に力を入れている。

	3-9 教員の資質向上や指導力育成に向けた取り組みがなされているか	3	学園本部主催の合同研修を年に数回実施し、教員の資質向上や指導力養成に取り組んでいる。大学のFD研修にも参加している。また歯科衛生士に特化した最新の事例や取り組みについては、外部の研修等を利用して個別にスキルアップをしている。	
4 学修成果	4-1 就職率の向上が図られているか	3	3年次に校内での就職ガイダンスを実施している。また、会場での就職ガイダンスにも参加。求人情報は常時閲覧できるようになっている。また個別相談、は隨時行っている。	就職希望者は100%の就職率である。また、歯科衛生士の資格を活かした就職をしている。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	3	最終目標である歯科衛生士国家試験の合格を目指して、年次ごとのカリキュラムが組まれている。全員卒業、全員合格を目標として対策、指導に力を入れているが、学力不足の学生に対して、力の入れどころを考え目標達成に向けていく。 2024度の歯科衛生士国家試験合格率は70名受験して66名が合格した。不合格だった4名は2025年度試験合格に向け、学校でフォローしている。	国家試験対策授業の中では、学んだ知識を確実に自分のものにしていくための勉強。また、各々の弱点を確実に克服するまで徹底的に指導を行い、全員合格を目指している。解答解説も徹底して行っている。
	4-3 退学率の低減が図られているか	2.5	担任による個人面談等継続的に行い、職員間での情報共有など、個々の問題点を早期に支援する体制作りに努めている。心身ともに健康で通学できるように細かくフォローしている。	
	4-4 卒業生、在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3	卒業時に進路報告を義務付け、就職先を把握している。就職先が変わった場合も把握している。また、卒業生に来校してもらい、在校生に対し、歯科衛生士としての仕事、活躍などの話をしてもらう機会を設けている。 在校生の学校外での活動なども把握している。	卒後研修を実施、卒業生の来校も多い。
5 学生支援	5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	就職担当が個別相談を隨時行い、必要に応じて面接指導を行っている。3年次は就職ガイダンス、就職説明会を実施し、ミスマッチの少ない就職に向けた支援を行っている。	就職ガイダンスでは自分を知ることから始め、求人票の見方、内容の説明、見学についてなどの講義を受ける。その後、校内就職ガイダンスを実施。また会場就職ガイダンスに参加している。
	5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	3	担任による個別面談を適宜実施している。毎週の定例ミーティングと隨時ミーティングで在校生について、校長・教職員全員が共有し、サポート体制がとれるようにしている。	

6 教育 環境	5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	経済面に不安のある場合は、入学前に個別相談を行っている。入学後においては、本人および保護者と学費サポート体制について一緒に話し合い、個別の状況に応じた支援を行っている。	学生の都合にあわせたさまざまな学費サポートプランを用意している。 ・分割払い ・専門実践教育訓練給付制度 ・修学支援新制度 ・日本学生支援機構等の奨学金 他にも様々な支援がある。
	5-4 学生の健康管理を担う体制は整備されているか	3	年一回健康診断を実施している。また、持病等を持つ学生に対しては、担任による個別面談を通して、健康状態の把握に努めている。その他、2年次では臨床実習を控えているので、服用している薬等も把握して管理している。	保健室は教務室・事務室の中に設置されており、常に状態把握できるようになっている。
	5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	日本ウェルネススポーツ専門学校の部活の中で、本校の授業終了後でも参加可能な部活であれば加入することができる。 また、日本ウェルネス高校のプラスバンド部が講師を招いて近くで練習をしており参加することができる。	学園グループ全体の行事として、タイケン学園スポーツ祭（5月）あり、グループ校の園児、生徒、学生との交流ができる。
	5-6 学生寮など、学生の生活環境への支援は整備されているか	3	一人暮らしを希望する学生には提携している近隣の学生会館や学生寮、その他学生マンションも紹介し、学生の生活環境支援をしている。	
	5-7 保護者との連携体制は適切に行われているか	3	出席状況、成績、体調など少しでも問題が生じた場合、すぐに保護者にも連絡を取り、状況の把握と共有に努めている。休学や退学などの申し出があった際には、三者面談を基本としている。	保護者への電話連絡の頻度は高い。
	5-8 卒業生への支援体制は整備されているか	3	卒業後も気軽に来校できるようにし、仕事の相談、技術的な指導を希望する卒業生等、すべてに対応している。また、学校内の求人票を閲覧できるようにしている。 また、卒業後も生涯に渡りサポートをすることとしている。	卒後研修を実施し、卒後も技術・知識レベルの向上、情報交換ができる。
	6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	歯科衛生士の専門技術を修得するために、歯科ユニットを備えた実習室、模型を使った技術習得のための実験室、レントゲン室、講師の手技をはっきりと見ながら学べるように個々のパソコン画面に手技動作を映し出す等、より良い学習環境、設備を整えている。	校内でWi-Fiが使えるようにしている。 2025年度には実験室の改裝を行い、設備を更に充実する。

	6-2 学外の実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	I 部では 2 年 10 月～3 月まで大学病院、3 年 4 月～8 月まで歯科診療所、II 部は 2 年 10 月～3 年 8 月まで歯科診療所において臨床実習を行っており、GIO、SBOs に沿った臨床実習を行っている。また、臨地実習として保育園、幼稚園、小学校で歯磨き指導を行っている。	大学病院は臨床実習要領および各科マニュアルに基づき、歯科診療所はは臨床実習要領に基づき、オリエンテーションを行い、臨床実習がスムーズに進められるようにしている。
	6-3 防災に対する体制、学内における安全管理体制は整備されているか	3	年 2 回避難訓練を実施し、避難経路の確認などを行っている。また、事故発生時の対応マニュアル、危機管理対応マニュアルを整備している。	各教室、玄関には防犯カメラが設置してあり、24 時間録画している。
7 学生の受け入れ募集	7-1 学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか	3	当校ホームページや、媒体経由での資料請求者にパンフレット・募集要項を送付している。また、高校の進路指導室への訪問、進路ガイダンスへの参加、体験入学や学校説明会を実施している。	
	7-2 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	入学選考方法は募集要項に明記し、明記した通りに適切に実施している。 また、入試は校長面接を行っている。	
	7-3 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	学則に規定している学費等は募集要項にも掲載しているとおりであるが、その他の諸経費については学生の負担を考え毎年見直しを行っている。	諸経費については、学校説明会で説明をしている。また、請求時に詳細を明記して送付している。
8 財務	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	法人としての財務基盤は安定しており、全く問題はない。	
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	年度予算、収支計画は、目的目標に照らして有効かつ妥当なものとなっている。	
	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	3	タイケン学園本部により、会計監査は適正に行われている。	
	8-4 財務情報公開の体制準備はできているか	3	資料の作成は適正に行われており、ホームページで情報公開をしている。	

9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか	3	法令や専修学校設置基準は遵守され、適正な運営がなされている。	
	9-2 個人情報に関する対策を実施しているか	3	個人情報保護に関する対策は適正に実施している。タイケン学園全体としても、個人情報保護についての職員への教育が徹底されている。	
	9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	毎年自己点検、自己評価を実施し、問題点が発見された際には改善に努めている。	
	9-4 自己評価結果を公開しているか	3	自己評価の評価結果はホームページで情報公開している。	
	9-5 学校関係者評価結果の実施体制を整備し評価を行っているか	3	自己評価結果に基づき、年2回（5月、11月）開催している。	
	9-6 学校関係者評価結果を公開しているか	3	ホームページで情報公開している。	
	9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	ホームページで情報公開をしている。	
10 社会貢献・地域貢	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	校外活動として、保育園、幼稚園、小学校に出向き、歯磨き指導を行っている。 年1回の歯科イベント時には、地域の方々にも案内し、口腔ケアの体験をしてもらっている。	2025年度は4月に歯科イベントを行った。
	10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	ボランティア活動の募集があった際には掲示板等でも周知し、学生自らの意思で活動に取り組むようにしている。	
	10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2	現時点では地域に対する公開講座や教育訓練の受託は実施していないが、地域からの要望等があった場合、都度実施していく。	
11 交流国際	11-1 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	2	学校法人タイケン学園グループは、グローバルな人材育成を建学の精神に掲げており、グローバルな感性を持つ人材育成に力を注いでいる。グループ校には留学生がたくさん在籍しており、スポーツ祭など一緒に行う。本校も留学生の受け入れをしている。	2025年度は3名の留学生が入学、留学生は全学年で6名になった。